

2017

文化祭

2017. 11. 12

南紀新報より

感動与える全校劇

熊野市五郷中学校で文化祭

熊野市五郷中学校（高田有治校長）で十二日、文化祭が開催された。

今年のテーマは「声〜心の叫びを伝えよう〜」。五郷小学校と五郷中学校の児童、生徒が人権や地域についての作文を発表。音楽発表では、合奏や合唱に大きな拍手が送られた。

引き続き、小中学生が五郷町で実際に起こった話を元にした全校劇「キク物語」を披露。幕末から明治初期にかけて行われたキリシタン弾圧で、長崎から流罪となったキクを温かく迎え入れた心や



全校生徒が実話を元にした劇を披露

さしい五郷の人々を演じ、来場者が笑って泣いて感動していた。

会場には、中学生のほか、小学生と地域住民の作品も展示され、好評だった。

『声』 ～心の叫びを伝えよう～ をテーマに合唱、作文発表、学習発表、郷土劇の発表を行いました。中学校の学習成果だけでなく、五郷保育所、五郷小学校の園児・児童、地域の方の作品も展示し、小中合同で合唱発表も行いました。「ふるさと」の合唱では、地域の方も声を出していただき、体育館中に響く大合唱となりました。今年の郷土劇は「キク物語」。幕末に熊野に流罪となったキリシタンの少女とその少女と優しく接した五郷地区の人たちの触れ合いを描いた実話を劇にしました。文化祭の前から地域の方からのお問い合わせが多かった劇ですが、涙あり、笑いありの感動作になりました。また上演後は子どもたちにも直接多くのお声をかけていただきました。イスが足りなくなるくらい多くの地域の方にもご参加いただき、ありがとうございました。

